



# 来週の投資戦略 (5/9-13)

## 主要企業の決算予想は

2022年5月8日

小松 徹

### 注目事項 ー 見所

主要企業決算 ー 今期業績予想はアナリスト対比で？

### 株式市場見通し

来週は企業の決算発表が注目だ。5日間で 2436 社も発表するのでアナリスト、投資家が追いきれない銘柄もある。これまで述べてきたように、今期業績予想を出さない企業の株価は売られる可能性が高い。一方、増益予想を出してもウクライナ情勢や中国のゼロコロナ政策の影響を考慮しない場合には、株価は表面上の数値に反応するとは限らないだろう。また、会社によっては自社株買いの発表にも注目されよう。昨年発表していた場合や、株価が大きく下げている場合には投資家の期待は高いので、注意がいるだろう。

火曜日から発表順にアナリスト予想値と対比してみる。午後1時半に日本製鉄(5401)が発表する。アナリストは今期営業利益を46百億円、純利益を前年度比推定39%減の31百億円と予想。会社四季報は11%減の46百億円にとどまると予想。先週ジェイエフイーホールディングス(5411)が見通しを発表しなかったが、当社は予想を出すだろう。同日1時45分に三菱商事(8058)が発表する。アナリスト予想の今期純利益は前年比10%増の98百億円だが、会社四季報は20%減の68百億円と予想。先週発表の各商社の業績予想数値から大幅な減益を発表する可能性は低いだろう。

引け後発表のソニーグループ(6758)の今期営業利益はほぼ横ばいと予想されている。前年に2.0%相当の自社株買いを発表して、投資家を驚かせたが、今回はどうだろう。株価はほぼその時の水準にあるので、期待している投資家もいよう。任天堂(7974)の今期純利益はほぼ横ばいとアナリストが予想しているが、四季報は10%減益を予想。大きな円安メリットがあるも半導体不足などが気になる。水曜日午後1時25分にトヨタ自動車(7203)が発表する予定だ。アナリストが3.3兆円の営業利益を3兆円の純利益を予想。すでに発表したデンソー(6902)の見通しが良かったので、投資家の期待は高い。

木曜日午後1時半発表予定の三菱重工業(7011)の今期純利益を12百億円、前年比20%増と予想している。受注計画にも注目したい。ロシアのウクライナ侵攻以降、株価は力強く上昇している。当時、買い推奨しているアナリストは一人もいなかったが、現在は3名いる。最後に同日引け後発表の東京エレクトロン(8035)の今期営業利益をアナリストが前年比22%増の70百億円と予想している。受注予想を発表しないが、説明会でいつもの強気な発言が経営陣から聞かれるだろう。すでに発表したアドバンテスト(6857)は3割増益予想を出したが、株価の反応は翌日だけだった。

### KPAの投資戦略

ロング (買い)	ショート (売り)
好財務の割安株、今期桁増益株	高PB低位株、高PE新興株

(注) ヘッジ・ファンド向け戦略としての一例。投資期間は半年程度を想定。



本レポートは、情報提供の目的のみでご利用者に提供されるものであり、有価証券売買に関する何らかの申し込みまたは勧誘を意図するものではありません。本レポートに記載されるすべての意見および予測は、レポートの日付時点におけるコマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ(以下、KPA)の判断であって、予告なしに変更される場合があります。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析がすべてのご利用者にとって適切であるとの表明を行うものではありません。ご利用者は、投資に伴うリスクとメリットがご自身にとって適切であるかどうか、自己の責任で判断して頂きます。KPAは本レポートについてその正確性、完全性または適時性を保証していません。KPAはいかなる保証も行わないことを明確にしています。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析にご利用者が依拠した結果として被る可能性のある直接的あるいは間接的な損害について責任を負いません。本レポートについての知的財産権はKPAに帰属し、著作権、特許権、商標権その他の知的財産権に関する法令により保護されています。本レポートを印刷した場合も、その印刷物の著作権は、KPAに帰属します。ご利用者は個人的利用を目的としたバックアップのためにのみ印刷、複製することができます。プリントアウトした印刷物や複製したデータを、個人的利用以外の目的で使用することはできません。ご利用者は、本レポートを、有償・無償を問わず、第三者に提供することはできません。また、これを改変、修正することはできません。本規定にご利用者が違反した場合、KPAは金銭的な損害賠償を含む救済手段を請求する権利があります。